

平成30年12月27日会議概要

第1 日時

平成30年12月27日（木）午前9時から午後0時までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、長谷委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、警察学校長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

- **（石川委員長）** 本年も本部長の指揮の下、各部長を始め全警察職員が、しっかりと治安維持に当たっていただき、刑法犯認知件数、交通事故発生件数及び交通事故死者数を減少させるとともに、府民の安全・安心の実現に貢献していただきました。公安委員会として感謝申し上げる次第です。残された治安課題については、来年も引き続き取り組み、更なる成果を上げていただきたいと思います。また、本年、公安委員会としては、16都道府県公安委員連絡会議という規模の大きな会議を主催することができました。一方で、反省すべき点は警察職員による非違事案が発生したことです。警察を管理する立場として、現場の状況をより深く理解し、適切な防止対策が提言できるよう、来年は、現場に出向く「動く公安委員会」でありたいと思っています。
- **（渡部委員）** 刑法犯認知件数を始め交通事故死者数も目標を上回る数値で推移しておりますことは、公安委員会としてうれしく思っています。
- **（平林委員）** 来年は「動く公安委員会」を実践していきたいと思っております。御協力をお願いします。
- **（長谷委員）** 公安委員会定例会議では、警察から報告を受けるという受動的な立場になりがちなので、来年は公安委員会から報告を求めていくことを考えております。
- **（森委員）** 公安委員に就任して1年が経過し、様々な業務を経験させていただきました。今後は、公安委員会の責務をどのような形で果たしていくべきかを考えたいと思います。

2 報告事項

(1) 平成30年年末の交通事故防止府民運動の実施結果について

交通部長から、平成30年12月1日から同月20日までの間実施された平成30年年末の交通事故防止府民運動の実施結果について報告があった。

(2) 山科区上花山における死亡ひき逃げ事件の発生・検挙について

交通部長から、交通捜査課及び山科警察署は、平成30年12月20日午前1時41分ころ、京都市山科区上花山の国道1号において、軽四乗用自動車が南進中、被害者運転の原動機付自転車に衝突し、被害者に重篤な傷害を負わせたが、救護等の措置を講じることなく逃走したとして、平成30年12月21日、軽四乗用自動車を運転していた男を過失運転致

死及び道路交通法違反（救護義務違反・事故不申告）で逮捕した旨の報告があった。

(3) 皇后盃第37回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に伴う交通対策の実施について

交通部長から、平成31年1月13日、西京極陸上競技場をスタート・ゴールとして行われる皇后盃第37回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会の概要、交通対策等について報告があった。

(4) 男子第69回・女子第30回全国高等学校駅伝競走大会に伴う交通対策の実施結果について

交通部長から、平成30年12月23日、西京極陸上競技場をスタート・ゴールとして行われた男子第69回・女子第29回全国高等学校駅伝競走大会における交通対策の実施結果等について報告があった。

(5) 平成31年京都府警察大震災警備訓練の実施について

警備部長から、京都府警察の災害対応能力の向上を図ることを目的に、平成31年1月17日に実施する大震災警備訓練の内容について報告があった。

石川委員長から、「大震災が発生した場合、現場における活動がどれほど制約を受けるのか想定し難い中、訓練の計画を立てるのは難しいと思うが、効果的な訓練を実施していただきたい。」との発言があった。

3 本部長報告

本部長から、

- 本年の府警の成果は交通死亡事故の抑止と犯罪の抑止であった。来年は、それぞれの業務について、目的、対象が何で、どのような手法が効率的であるのかを、しっかりと意識し、惰性に流されないように仕事を進めていきたい。

旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、12件の行政処分を決定した。

2 報告事項

(1) 京都府警察国際化推進計画の進捗状況に係る検証結果と今後の取組について

警務課企画調整室長から、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、平成28年8月に策定した国際化施策の基本方針を現実的なプランとして実現していくため、毎年1回、その進捗状況について検証を行うとともに、必要に応じて計画内容を見直すこととしていることから、本年の推進状況を検証した結果と今後の取組について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。